

**特別史跡加曽利貝塚を含む市内遺跡の発掘成果を発表する「遺跡発表会」を開催します！
～3か年に及ぶ加曽利貝塚の発掘調査、全部見せます～**

千葉市では、平成29年度から3か年で実施した特別史跡加曽利貝塚の発掘調査成果の速報をはじめ、近年、市内で実施した遺跡の発掘調査や出土資料の整理作業の成果を発表する「令和元年度千葉市遺跡発表会」を開催しますので、お知らせします。

1 趣旨・目的

市内の豊かな歴史とその魅力を伝えるため、遺跡の発掘調査や出土資料の整理作業の成果を紹介し、市民が本市に愛着と誇りを持てる環境を育むことを目的に開催しています。

今年度は、加曽利貝塚の平成29年度からの3か年に及ぶ発掘調査の成果をはじめ、平成30年度、令和元年度に市内で実施した遺跡の発掘調査や出土資料の整理作業の成果を発表します。

「古代国家を支えた国境の開発」と題した講演は、土気地区の発掘成果に焦点をあてたものです。今から約千年前、独自性の地理・地形を活かして繁栄した土気地区の歴史の魅力が語られます。

2 実施概要

(1) 開催日時

令和2年2月29日（土）

10:30～16:00

(2) 会場

千葉市生涯学習センター 2階ホール
(中央区弁天3-7-7)

(3) 参加者

300人

(4) 申込方法

当日受付（事前申込不要）、参加費無料

(5) 構成

「令和元年度千葉市遺跡発表会スケジュール
(次ページ参照)」のとおり



発表の様子（平成30年度）

3 関連展示

発表・講演を行う遺跡の出土遺物と写真・解説パネルを展示します。

(1) 開催日時

令和2年2月18日（火）～3月1日（日）

9:00～21:00

(2) 会場

千葉市生涯学習センター 1階アトリウムガーデン（中央区弁天3-7-7）

(3) その他

2月29日（土）は、展示スペースに学芸職員が常駐し、展示解説を行います。



展示の様子（平成30年度）

令和元年度千葉市遺跡発表会スケジュール

時 間	発表タイトル等	発表者等	備 考
10:30～10:35	開会挨拶		10:00 開場
第 1 部 市内の遺跡の発掘調査・整理の成果発表			
10:35～11:30 (55 分)	「生活の場所と祭祀の場所」 種ヶ谷津遺跡（中央区生実町）	小林 嵩 （公財）千葉市教育振興財団 主事	
11:30～12:00 (30 分)	「奈良・平安時代の 2 つのムラ」 貝殻畑遺跡（花見川区武石町 1 丁目） 馬場遺跡（稲毛区園生町）	白根 義久 埋蔵文化財調査センター 主査	
12:00～13:00	昼食休憩		
第 2 部 加曽利貝塚の調査研究成果発表			
13:00～14:00 (60 分)	「特別史跡加曽利貝塚発掘調査速報」	松田 光太郎 埋蔵文化財調査センター 主任主事	
14:00～14:20	休 憩		
14:20～15:50 (90 分)	【講演】 「古代国家を支えた国境の開発」 —土気地区の奈良・平安時代—	西野 雅人 埋蔵文化財調査センター 所長	
16:00	閉 会		16:10 閉場

【発表・講演のポイント】

1 「生活の場所と祭祀の場所」種ヶ谷津遺跡（中央区生実町）

種ヶ谷津遺跡は過去に行われた調査で、奈良時代の遺物が大量に出土した遺跡として知られています。ですが、昨年度行った調査では、過去の調査とは異なる遺跡の一面が明らかになりました。今回は特に縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代に注目し、発掘の結果、分かったことをお伝えします。

2 「奈良・平安時代の 2 つのムラ」貝殻畑遺跡（花見川区武石町 1 丁目）・馬場遺跡（稲毛区園生町）

近年、奈良・平安時代のムラの発掘調査をする機会がありました。ほぼ同時期に営まれたムラですが、両者には違いがみられます。今回は、掘立柱建物跡と墨書土器に注目してみたいと思います。

3 「特別史跡加曽利貝塚調査速報」

平成 29 年度から令和元年の 3 ヶ年にかけて行った発掘調査の成果を発表します。大型の住居跡の発掘から加曽利貝塚が長期間拠点的なムラであったことが判明したことなどを説明します。

4 講演「古代国家を支えた国境の開発」—土気地区の奈良・平安時代—

房総の三大水系が交わる特別な場所である千葉市土気地区。昭和 51 年から 10 年ほど前まで行われた広域の発掘調査によって、独自性のつよい地理・地形を活かした歴史が見えてきました。国分寺造営という古代国家の巨大プロジェクトを担った地域の繁栄について、発掘成果と出土資料の魅力をお伝えします。